

第三號表標準額	金百〇五圓拾錢也
子供一人	金拾五圓也
親一人	金貳拾圓也
家貨増額	金五圓也
合計	金百四拾五圓拾錢也

説明

五人暮しとなれば一室にては狹隘であるから別に一室を要するものとして金五圓を計上した譯である。

大正十年十月十五日

以上

普通船員食糧目録

日本海員組合

海上労働者としての吾等船員は其天職である船内労働に耐へる爲めには是非とも労働力の根本たるべき身體に必要な充分の營養素即ち滋養分を含有する食糧を攝取しなければならぬことは何人も否定することの出来ない原則である其詳細は次に掲げたる調査概要の通りである然らばこの大切なる營養素即ち滋養分の配合を基礎として日々如何なる分量に於て如何なる種類の食糧を要するかを知る必要がある本組合は之に對する各種の參考資料を集め慎重研究の結果左記第一號及第二號査定案を得たのである就ては之に對する意見のある各位は此際腹臍なく申出あらんことを切望致します。

尙船内生活は御承知の通り終始究屈なる室内に起臥し絶えず激變多き寒暑や暴風怒濤の間に劇務に従事し無味荒涼の下にある關係上食事の外には何等の樂みもない生活であるから假令何程滋養分が澤山あればとてまづいものでは全く困る面倒が起る隨て調味の上には特別の考慮を要しなければならぬ世間に所謂滋養物に甘味いものなしと謂ふ諺を思ひ出して特にこの希望を申添へて置くのである。

各關係方面に於て別表第一、第二號表の内容に異議なしとすれば之を船内に掲示して其實行を期せられんことを切に希望致します。

これと同時に食糧品は前述の通り吾等の労働成分の根本となる大切のものであるから吾等は食糧の受入れ保管及食事の取扱に就ては慎重に注意する心得がなければならぬ。